

法教育なるほどセミナー2010小学生部会シナリオ

■ 1 限目

(司会)

みなさん。こんにちは。

本日は、暑い中、お越しいただきありがとうございます。

今日は、みなさんと一緒に「平等」について考えていきたいと思いをします。

ところで、みなさんは「平等」という言葉を聞いたことがありますか？

「平等」という言葉を辞書で調べてみると、「かたよりや差別がなく、みな等しいこと」と書いてあります。

今日は、これから出てくるいろんな場面を通じて、この「平等」についてもものがどんなものなのか少しでもわかってくれたらと思います。

おや、平等小学校で50メートル走をやっていますね。

平等小学校の50メートル走で、登場人物がどのようなことを言いたかったかをあとで聞くので、ちゃんと見ておいてくださいね。

それでは、ちょっとのぞいてみよう。

(司会はける。)

(キーンコーンカーコーン)

(アナウンス)

(呼ばれたら順に舞台に登場。登場する際にキャラっぽい一言を言う。うまおは「ヒヒーン」、ドスコイは「どすこい。又はごっちゃんです」、だいぶつは・・・だいぶつポーズで登場?)。

1コース A (=うまおくん：前田先生) 50メートル 6秒

2コース B (=ドスコイくん：猿渡先生) 50メートル 12秒

3コース C (=だいぶつくん：飯田修習生) 50メートル 9秒

(A, B, Cがスタートラインに横一直線に並ぶ。)

(トイレットペーパーでゴールテープスタンバイ)

(位置について、よーいドン)

※かけっこの音楽を流す。ゴールしたら止める。

(A, B, Cが走り、A, C, Bの順でゴールする。)

(A)
やった、1位だ。

(Bがゴール。)

(B)
一番ドベか。悔しいな。
これは平等ではないよ。

(A)
みんな同じスタートラインに立つことができ、そこから一緒に走ったんだから、これが「平等」でしょ。

(B)
差を付けなくて良いよ。みんな仲良くやろうよ。
みんな一緒にゴールすることが、平等ってことじゃない。
一度やってみようよ。

(A、B、Cがスタートラインに並ぶ。)

(トイレットペーパーでゴールテープスタンバイ)

(位置について、よーいドン。)

※かけっこのおんがくを流す。ゴールしたら止める。

(みんなで手をつないでゴール)

(B)
やった。僕も1位だ。みんな1位で平等だよ。

(A)
みんな一緒にゴールして、何か意味はあるの？
俺なんか、ゴール前でBとCがやってくるのを待ってたよ。
いくら一生懸命に走っても最後みんなでゴールするんだから、やる気がなくなっちゃうよ。
ゴールを一緒にすることは無茶苦茶だよ。

(C)
手をつないでみんな一緒にゴールさせるってのはさすがに変だと思うな。
でも、Aの考え方ももう少し考えても良いような気がするけどな。

(A)
同じスタートラインに立って同じ条件で走ったんだからこれで平等

だよ。

(C)

いや、足の速さはひとそれぞれ違うから、みんな同じスタートラインに立つだけじゃ平等じゃないよ。

(B)

そうだ。そうだ。

(C)

人それぞれ足の速さに差があるんだから、調整してみようよ？
みんなができるだけ1位でゴールするチャンスがあるように調整することが平等だよ。

う〜ん。こんなやり方はどう？

(CがAとBのスタートラインの位置を設定する)

(C)

A、B、僕の足の速さにあわせて、走る長さを変えてみたんだ？
みんな1位になるチャンスは同じだよ。

(ヨーイ・ドン、すぐに終了)

※かけっこの音楽を流し、すぐに止める。

(A)

ちょっと、ちょっと、ちょっと
スタートの位置が違うから、BやCにとっては50メートル走って
言えないじゃない。
走る距離は同じにしようよ。

(C)

う〜ん。(ごねた感じ)
じゃ、こんな方はどう？

(CがAとCの足が早い人におもりをつける)

(C)

Aと僕におもりをつけてみたんだ。

(ヨーイ・ドン、終了)

※かけっこの音楽流し、すぐに止める。

(A)

ちよつと，ちよつと，ちよつと
おもりをつけたせいで、僕の本当の速さが発揮できないよ。
僕の努力が無駄になって、こんなやり方は嫌だよ！

(C)

でも、みんな同じ距離を走っているから、さっきよりはいいんじゃない？
みんな一位になるチャンスがあつて平等だよ。

(B)

それなら、さっきしたごつ、みんな一緒にゴールしようよ。

(A, C)

え～

(けんか続く)

(司会)

はい。みなさん。
今、50メートル走について、見てもらいました。
A、B、Cはいろんなことを・・・

(A、B、Cのけんかが続いている。)

(司会)

こら！！うるさいぞ！静かにしなさい。

(A、B、C静かになる。)

(A、B、Cはその場に残る。)

(司会)

はい。静かになりましたね。さて気を取り直して。
A、B、Cは、いろんなことをやってみてましたね。
彼らの会話では、それぞれ平等についていろいろ言っていましたね。
彼らの平等についての考え方に違いがあることはわかりましたか？
それじゃあ、1人ずつ考えていきましょう。
まずは、うまお君について考えてみよう。
うまお君は、どのようなことを言いたかったのでしょうかね。ちよつと
と考えてみよう。
テキストの3頁目を開いてください。3頁目の上のほうにうまお君の絵がありますね。
うまお君の絵の左側に「Q1 うまお君は、どのようなことを言いたかったの
うか？」と書いてかるところがありますね。その下のところに、あ

あなたが考えるうまお君の言いたかったことを書いてみてください。
それでは、考えてみてください。時間は、1分です。どんなことを
考えたか聞くので、ちゃんと考えてくださいね。

(1分経過)

(司会)

はい。時間になりました。それではどんなことを考えたか聞きます
よ。

(質疑応答)

※うまお君が、子どもの発言が言ったことであれば首を縦に、言っ
ていないことであれば首を横に振る。

みんなにうまお君の言いたかったことを考えてもらいました。
うまお君の言いたかったことを考えてみると、うまお君は、みんな
のスタートの位置が同じで、同じ距離を走れば平等と考えているこ
とがわかりますね。

もう少し言うと、うまお君は、走るのが速い人と遅い人がいて、速
い人ばかり1位になっても、同じスタートから同じ距離を走ると
いう条件がみんな同じなら平等なんだ、と考えているようですね。
つまり、うまお君の考える平等は、「条件が同じこと」と言えそう
ですね。

それでは、テキストの3頁目の先ほどみんなに書いてもらった場所
の下に「うまお君の考える平等は、」と書いてあるところの下の空
欄に「条件が同じこと」と書いてください。

では、次にどすこい君について考えてみましょう。

どすこい君は、どのようなことを言いたかったのでしょうかね。ちょ
っと考えてみよう。

テキストの3頁目の下のほうにどすこい君の絵がありますね。

どすこい君の絵の左側に「Q2 どすこい君は、どのようなことを
言いたかったのでしょうか？」と書いてかるところがありますね。
その下のところに、あなたが考えるどすこい君の言いたかったこと
を書いてみてください。

それでは、考えてみてください。時間は、1分です。それでは、ど
うぞ。

(1分経過)

(司会)

はい。時間になりました。それではどんなことを考えたか聞きます
よ。

(質疑応答)

※どすこい君が、子どもの発言が言ったことであれば首を縦に、言

っていないことであれば首を横に振る。

(司会)

みんなにどすこい君の言いたかったことを考えてもらいました。
どすこい君の言いたかったことを考えてみると、どすこい君は、自分は走るのが遅いし、競争せずに仲良くして、みんなで一緒にゴールすればいい。と考えているようですね。どすこい君は、ゴール(結果)を同じにするべきなんだ、と考えていますね。

つまり、どすこい君の考える平等は、「ゴールつまり結果が同じこと」と言えそうですね。

それでは、テキストの3頁目の先ほどみんなに書いてもらった場所の下に「どすこい君の考える平等は、」と書いてあるところの下の空欄に「ゴール(結果が同じこと)」と書いてください。

最後に、だいぶつ君について考えてみましょう。

だいぶつ君は、どのようなことを言いたかったのでしょうかね。ちょっと考えてみよう。

テキストの4頁目の上のほうにだいぶつ君の絵がありますね。

だいぶつ君の絵の左側に「Q3 だいぶつ君は、どのようなことを言いたかったのでしょうか？」と書いてあるところがありますね。その下のところに、あなたが考えるだいぶつ君の言いたかったことを書いてみてください。

それでは、考えてみてください。時間は、1分です。それでは、どうぞ。

(1分経過)

(司会)

はい。時間になりました。それではどんなことを考えたか聞きますよ。

(質疑応答)

※だいぶつ君が、子どもの発言が言ったことであれば首を縦に、言っていないことであれば首を横に振る。

(司会)

みんなにだいぶつ君の言いたかったことを考えてもらいました。
だいぶつ君の言いたかったことを考えてみると、だいぶつ君は、足の速さが違うのに

スタートラインを同じにしてただ走るのはおかしい、みんなで一緒にゴールするのもおかしい。みんな足の速さが違うから、できるだけみんなが1位になる可能性が同じになるように、おもりをつけたり、走る距離を変えたりして、工夫・調整してバランス良くするべきだ、と考えているようですね。

だいぶつ君は、みんな足の速さがばらばらだから、工夫・調整して1位という結果をえられるチャンス(可能性)をできるだけ同じに

することが大事だと考えているようですね。
つまり、だいぶつ君の考える平等は、「調整してチャンスを同じようにすること」と言えそうですね。
それでは、テキストの4頁目の先ほどみんなに書いてもらった場所の下に「だいぶつ君の考える平等は、」と書いてあるところの下の空欄に「調整してチャンスを同じようにすること」と書いてください。
このように、平等について、うまお君・どすこい君・だいぶつ君の3つの考え方があるのがわかりましたね。
復習すると、うまお君は、「条件が同じこと」を平等と、どすこい君は、「結果が同じこと」を平等と、だいぶつ君は「調整してチャンスを同じようにすること」を平等と考えていましたね。
次の時間では、他のいろんな場面で、うまお君、どすこい君、だいぶつ君のどの平等の考え方の場面なのかを考えていきましょう。
これで1時間目を終わります。

(キーンコーンカーンコーン)

■ 2 限目

(講師)

それでは2時限目を始めます。

1時限目で、「かけっこ(100メートル走)」について、平等についていろいろな考え方があることがわかりましたね。

今日は、「かけっこ」の事例で、スタートを同じにすればいいという考え方を「スタートの平等」、ゴールを同じにすればいいという考え方を「ゴールの平等」、足の速さによって組み分けしたりしてなるべくゴールが同じように工夫するやり方を「ハンデ(工夫、調整)の平等」と呼ぶことにしましょう。

2時限目では、こうした平等の考え方をより分かってもらうために、身近な事例について、この事例は「スタートの平等」「ゴールの平等」「ハンデ(工夫、調整)の平等」のどの考え方によるものかを考えてもらいます。

1人1人の考えを教材にメモしてもらって、そのあと班で話し合ってもらい、班の考え方を発表してもらいます。

班の考えは「スタートの平等」「ゴールの平等」「ハンデ(工夫、調整)の平等」の札を挙げてもらう方法で発表してもらいますので、札を挙げる人も話し合ってくださいね。

6つ事例を出すので、1人一回は札を挙げてくださいね(6班を想定)。

それでは、みんなで考えよう。

【事例1】

小学生のA君、B君、C君がいました。A君は、日ごろから一生懸命勉強していました。B君は、そこそこ勉強をしていました。C君は、勉強が嫌いで遊んでばかりいました。小学校でテストがあり、A君は95点、B君は50点、C君は30点でした。小学校の通知表を見てみると、A君、B君、C君ともに「たいへんよくできました(5ないしA)」評価でした。

(講師)

最初は、この事例について考えてもらいます。

この事例では、「スタートの平等」「ゴールの平等」「ハンデ(工夫、調整)の平等」のどの考え方によるものかを考えてください。

では、さっそく、まずは一人で考えてください。手元にあるプリントの○頁を開いて、自分の考えを書いてください。時間は○分です。書けたみたいだね。

それじゃあ次に、班ごとで話し合ってみよう。

後で、班の考え方を札で挙げてもらって、理由を聞くから、札を挙げて理由を言う人も決めてね。みんなで一生懸命話し合ってくださいね。

班で出た意見と最終的な班の意見・理由は、さっき開いてもらった○頁に書き込んでおいてね。時間は○分です。
それじゃあ、頑張って話し合ってね。

ろそろ時間なので、班の意見を札で挙げてもらいます。
じゃあ、一斉に札を挙げてもらいますけど、準備はいいかな？

（「はい」と元気に返事をするのか？今の小学生は）

それじゃあ、札を挙げてください。

（「バサバサ」と札を挙げる）

「スタートの平等」が○班、「ゴールの平等」が○班、「ハンデ（工夫、調整）の平等」が○班ですね。
それじゃあ、理由を聞いてみようかな。（理由も何かに書かせたほうがよいか？）
じゃあ、まずは、○班から。

（理由を一通り聞く。）

みんないろんな考え方が出たね。
それでは、正解の発表です。
正解は「ゴールの平等」です。
この事例では、勉強をがんばった人でもがんばらなかった人でも、通知表の成績は同じ「たいへんよくできました（5ないしA）」になるので、必ずゴールが同じになりますね。だから通知表の成績という結果、ゴールが同じになるので「ゴールの平等」になります。少し難しかったかな？一問目でコツをつかんでもらったから、それでは2問目です。

【事例2】

小学生のA君は、バスに乗ろうとバスを待っていました。A君の後ろにはおばあちゃんが並んでいました。バスが来たので乗るとお客さんがたくさんいて席が一つしかあいていませんでした。その席には「高齢者優先席」と書いてあったので、A君は席に座れず、後ろに並んでいたおばあちゃんが座りました。

（講師）

次は、この「バスの優先席」事例について考えてもらいます。
この事例では、「スタートの平等」「ゴールの平等」「ハンデ（工夫、調整）の平等」のどの考え方によるものかを考えてください。
では、さっそく、まずは一人で考えてください。手元にあるプリントの○頁を開いて、自分の考えを書いてください。時間は○分です。

書けたみたいだね。

それじゃあ次に、班ごとに話し合ってみよう。

後で、班の考え方を札で挙げてもらって、理由を聞くから、札を挙げて理由を言う人も決めてね。みんなで一生懸命話し合っただね。

班で出した意見と最終的な班の意見・理由は、さっき開いてもらった〇頁に書き込んでおいてね。時間は〇分です。

それじゃあ、頑張っ話し合っただね。

そろそろ時間なので、班の意見を札で挙げてもらいます。

じゃあ、一斉に札を挙げてもらいますけど、準備はいいかな？

(「はい」と元気に返事をするのか？今の小学生は)

それじゃあ、札を挙げてください。

(「バサバサ」と札を挙げる)

「スタートの平等」が〇班、「ゴールの平等」が〇班、「ハンデ(工夫、調整)の平等」が〇班ですね。

それじゃあ、理由を聞いてみようかな。(理由も何かに書かせたほうがよいか?)

じゃあ、まずは、〇班から。

(理由を一通り聞く。)

みんないろんな考え方が出たね。

それでは、正解の発表です。

正解は「ハンデ(工夫、調整)の平等」です。

この事例では、お年寄りという年の違いによって優先的に座れる席を作るという工夫によってバスに乗る大変さをなるべく同じにしようという工夫がされていますので「ハンデ(工夫、調整)の平等」になります。

身近なバスにも平等のための工夫がされていることがわかりましたね。

それでは、3問目です。

【事例3】

小学生のA君のクラスでは、給食のあまったデザートは、食べたい人がじゃんけんをして勝った人が食べれることになっています。C君はじゃんけんが強く毎日のようにデザートを食べていますが、それでもじゃんけんで決めることになっています。

(講師)

次は、この「デザートじゃんけん」の事例について考えてもらいます。

この事例では、「スタートの平等」「ゴールの平等」「ハンデ(工夫、調整)の平等」のどの考え方によるものかを考えてください。

では、さっそく、まずは一人で考えてください。手元にあるプリントの○頁を開いて、自分の考えを書いてください。時間は○分です。書けたみたいだね。

それじゃあ次に、班ごとに話し合ってみよう。

後で、班の考え方を札で挙げてもらって、理由を聞くから、札を挙げて理由を言う人も決めてね。みんなで一生懸命話し合っただね。

班で出した意見と最終的な班の意見・理由は、さっき開いてもらった○頁に書き込んでおいてね。時間は○分です。

それじゃあ、頑張っって話し合っただね。

そろそろ時間なので、班の意見を札で挙げてもらいます。

じゃあ、一斉に札を挙げてもらいますけど、準備はいいかな？

(「はい」と元気に返事をするのか？今の小学生は)

それじゃあ、札を挙げてください。

(「バサバサ」と札を挙げる)

「スタートの平等」が○班、「ゴールの平等」が○班、「ハンデ(工夫、調整)の平等」が○班ですね。

それじゃあ、理由を聞いてみようかな。(理由も何かに書かせたほうがよいか？)

じゃあ、まずは、○班から。

(理由を一通り聞く。)

みんないろんな考え方が出たね。

それでは、正解の発表です。

正解は「スタートの平等」です。

この事例では、みんながデザートを食べるためのじゃんけんに参加することができますが、じゃんけんの結果たくさん食べれる人がいたり、全然食べれない人がいることが考えられます。このようにデザートを食べるためのじゃんけんに参加するチャンスがみんなにあります。じゃんけんが強い・弱いということは考えずに、結果はバラバラということになるので「スタートの平等」になります。

それでは、4問目です。

【事例4】

小学生のA君と中学生のB君の兄弟がいました。A君は、体が小さく、ご飯もたくさん食べません。B君は体が大きく、ご飯をたくさん食べます。A君、B君の家のある日の夕食は、A君、B君とも大好きなハンバーグでした。A君には、ハンバーグは1個だったのですが、B君にはハンバーグは2個ありました。

(講師)

次は、この「ハンバーグの数が違う」事例について考えてもらいます。

この事例では、「スタートの平等」「ゴールの平等」「ハンデ(工夫、調整)の平等」のどの考え方によるものかを考えてください。

では、さっそく、まずは一人で考えてください。手元にあるプリントの○頁を開いて、自分の考えを書いてください。時間は○分です。書けたみたいだね。

それじゃあ次に、班ごとに話し合ってみよう。

後で、班の考え方を札で挙げてもらって、理由を聞くから、札を挙げて理由を言う人も決めてね。みんなで一生懸命話し合っただけね。

班で出た意見と最終的な班の意見・理由は、さっき開いてもらった○頁に書き込んでおいてね。時間は○分です。

それじゃあ、頑張っけて話し合っただけね。

そろそろ時間なので、班の意見を札で挙げてもらいます。

じゃあ、一斉に札を挙げてもらいますけど、準備はいいかな？

(「はい」と元気に返事をするのか？今の小学生は)

それじゃあ、札を挙げてください。

(「バサバサ」と札を挙げる)

「スタートの平等」が○班、「ゴールの平等」が○班、「ハンデ(工夫、調整)の平等」が○班ですね。

それじゃあ、理由を聞いてみようかな。(理由も何かに書かせたほうがよいか?)

じゃあ、まずは、○班から。

(理由を一通り聞く。)

みんないろんな考え方が出たね。

それでは、正解の発表です。

正解は「ハンデ(工夫、調整)の平等」です。

この事例では、体が小さくあまりご飯を食べないA君と体が大きくご飯をたくさん食べるB君との違いによって、ハンバーグの数を変えて2人ともおなかいっぱいになるようにという工夫がされているので「ハンデ(工夫、調整)の平等」になります。

それでは、5問目です。

【事例5】

小学生のA君と中学生のB君の兄弟がいました。ある日、A君とB君は、お母さんからお手伝いをたのまれました。おかあさんは、お手伝いをしてくれたらおこづかいをあげると言いました。2人とも一時間お手伝いをしました。A君は、掃除・洗濯など家事を一生懸命やりましたが、B君は、A君に命令するだけであまりお手伝いをしませんでした。おかあさんは、2人にお手伝いをしてくれたお礼として、おこづかいをくれました。おこづかいは、2人とも100円でした。

(講師)

次は、この「お手伝い」の事例について考えてもらいます。この事例では、「スタートの平等」「ゴールの平等」「ハンデ（工夫、調整）の平等」のどの考え方によるものかを考えてください。では、さっそく、まずは一人で考えてください。手元にあるプリントの○頁を開いて、自分の考えを書いてください。時間は○分です。書けたみたいだね。

それじゃあ次に、班ごとに話し合ってみよう。後で、班の考え方を札で挙げてもらって、理由を聞くから、札を挙げて理由を言う人も決めてね。みんなで一生懸命話し合っただね。班で出た意見と最終的な班の意見・理由は、さっき開いてもらった○頁に書き込んでおいてね。時間は○分です。それじゃあ、頑張って話し合っただね。そろそろ時間なので、班の意見を札で挙げてもらいます。じゃあ、一斉に札を挙げてもらいますけど、準備はいいかな？

(「はい」と元気に返事をするのか？今の小学生は)

それじゃあ、札を挙げてください。

(「バサバサ」と札を挙げる)

「スタートの平等」が○班、「ゴールの平等」が○班、「ハンデ（工夫、調整）の平等」が○班ですね。

それじゃあ、理由を聞いてみようかな。(理由も何かに書かせたほうがよいか?)
じゃあ、まずは、○班から。

(理由を一通り聞く。)

みんないろんな考え方が出たね。

それでは、正解の発表です。

正解は「ゴールの平等」です。

この事例では、お手伝いをがんばったかどうかは無視して、同じおこづかいをおかあさんは挙げていますのでお小遣いの金額という結果、つまりゴールが必ず同じになるので「ゴールの平等」になります。

それでは、次が最後の問題です。正解できるよう頑張っ

【事例6】

小学生のA君のクラスでは、宿題をわすれると校庭を走らなければいけないという決まりがあります。A君のクラスでは男の子は走るのが得意で、女の子は走るのが苦手です。A君のクラスの決まりでは「宿題をわすれると校庭を5周走る」ということになっています。

(講師)

次は、この「校庭を走る罰」の事例について考えてもらいます。

この事例では、「スタートの平等」「ゴールの平等」「ハンデ(工夫、調整)の平等」のどの考え方によるものかを考えてください。

では、さっそく、まずは一人で考えてください。手元にあるプリントの○頁を開いて、自分の考えを書いてください。時間は○分です。書けたみたいだね。

それじゃあ次に、班ごとに話し合ってみよう。

後で、班の考え方を札で挙げてもらって、理由を聞くから、札を挙げて理由を言う人も決めてね。みんなで一生懸命話し合っ

班で出した意見と最終的な班の意見・理由は、さっき開いてもらった○頁に書き込んでおいてね。時間は○分です。

それじゃあ、頑張っ

そろそろ時間なので、班の意見を札で挙げてもらいます。

じゃあ、一斉に札を挙げてもらいますけど、準備はいいかな？

(「はい」と元気に返事をするのか？今の小学生は)

それじゃあ、札を挙げてください。

(「バサバサ」と札を挙げる)

「スタートの平等」が○班、「ゴールの平等」が○班、「ハンデ(工夫、調整)の平等」が○班ですね。

それじゃあ、理由を聞いてみようかな。(理由も何かに書かせたほうがよいか？)

じゃあ、まずは、〇班から。

(理由を一通り聞く。)

みんないろんな考え方が出たね。

それでは、正解の発表です。

正解は「スタートの平等」です。

この事例では、宿題を忘れたらみんな同じ5周走るということになっていますが、走った結果男の子は走るのが得意であまりきつくない、女の子は走るのが苦手です。とてきつ、といった違いについて工夫をしていない。走った結果男の子と女の子のきつさが違うことになり、きつさという結果つまりゴールが同じにならないので「スタートの平等」になります。

これで、2時限目の6問すべて終わりになります。

みんなも平等の考え方が分かってきたと思います。

身近ないろんなことに平等の考え方がかかっていることが分かってもらえたと思います。

それではこれで、二時限目を終わります。

■ 3 限目

(教師 1)

いよいよ最後、3 時間目の授業を始めます。

1 時間目では「50 m 走」について、どんな走り方が平等なのかを考えました。スタートを同じにするのが平等だとか、みんな一生懸命走るのだからゴールを一緒にするのが平等だとか、一人一人、得意不得意が違うのだからそれを調整するのが平等だとか、いろんな考え方がありましたね。

2 時間目では、このいろいろな“平等”についての考え方が、身近な例ではどんなふうに生かされているのかを考えてみました。

最後の3 時間目では、二つの場面を題材に、それぞれ、みんなが一番いいと思うやり方を考えてみてほしいと思います。わからないところは各班で意見を出し合って、いい方法を見つけてください。

それじゃあ、1 つめのお題、席替えです。

(教師 2)

整いました。席替えとかけまして、ジャンボジェット機と解きます。

(教師 1)

そのころは。

(教師 2)

どちらも期待(機体)が大きいでしょう。

それはともかく、みんなのクラスでも席替え、あるよね。この席替えだけど、どんな方法で決めるのが一番いいかって考えたことはあるかな。自分のクラスで実際にどうやっているかに拘らないで、1 時間目、2 時間目の授業でも出てきた“平等”もポイントにして考えてみよう。

生徒 40 人(男子 20 人、女子 20 人)のクラスで席替えをするのに、一番いいやり方を考えてみよう。

このお題で、まずは手元にある教材 17 頁を開けてもらって、一人一人考えてみてください。時間は 2 分ぐらいで。

書けたみたいだね。

それじゃあ次に、班ごとに話し合ってみよう。

後から班の代表者に、一番いい方法とその理由を発表してもらってから、みんなで一生懸命意見を出し合って、おもしろい・・・じゃなかった、一番いい方法を考えてみてください。

班で出たいろんな意見は、さっき開いて貰った 17 頁 & 18 頁に書き込んでおいてね。時間は 0 分 30 秒。

もういいかな。

じゃあ、班の意見を発表してもらいます。

(各班発表)

